

とくち

町民憲章

- 美しい自然に恵まれたまち徳地を守りましょう
- 健康で明るくたくましいまち徳地を育てましょう
- 勤労を尊ととび活気のあるまち徳地を伸ばしましょう
- 伝統と文化のかおるまち徳地を高めましょう
- きまりを守り人の和なごむまち徳地を築きましょう

No. 351

発行 徳地町

編集 徳地町企画室

印刷 今澄印刷

毎月5日発行



迎春

今年うしは丑年

あけましておめでとうございます。

今年うしは丑年、あなたは牛というどんな連想をしますか。のんびり、のっそり、それとも厚いビフテキ、牛肉の貿易自由化問題、と思いはさまざまでしょう。

牛はその昔、農業や交通、運搬など人間にとってなくてはならない機械の代用として利用されてきましたが、最近ではめったに牛の働く姿は見られなくなりました。

さて、今年うしの丑年、モウ烈うしに生きるもよし、のんびりと人生を反芻はんじゆしながら生きるもよし、ともかくも角つき合わずに仲よくいきたいものです。(写真の牛は陶芸クラブ林貫一さんの作品です)

主な内容

- ②……井上町長年頭のあいさつ・町長、町議補欠選挙の日程
- ③……新年を迎えて徳地町教育を考える(学校教育だより)
- ④⑤…町社会教育振興大会・青年の船など(社会教育だより)
- ⑥⑦…フィルムレポート・ふるさと探訪⑦
- ⑧……すこやか老人シリーズ・国保だより・路線バスを利用しよう
- ⑨⑩…お知らせ・文芸など

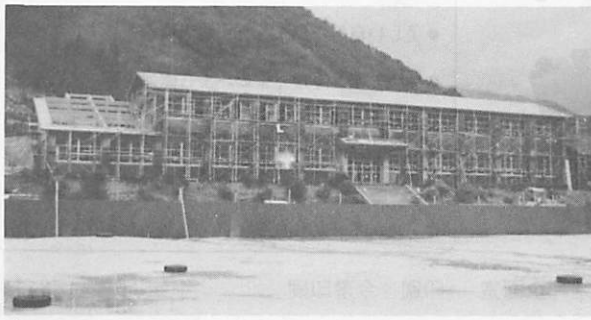
年頭のあいさつ



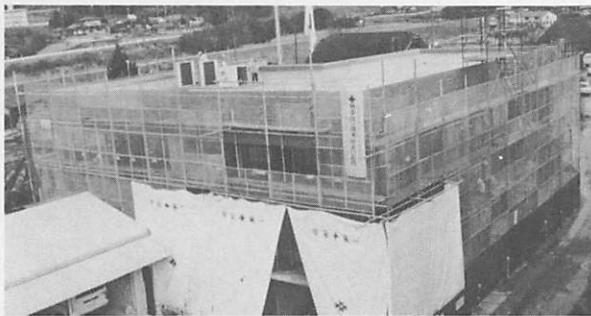
町民の皆様、あけましておめでとうございませう。

すがすがしい昭和六十年の新春を迎え、謹んで初春のおよろこびを申し上げます、併せて、町民の皆様がたのご健勝を心からおよろこび申し上げます。

月日のたつのは早いもので、皆様がたの負託をうけ町長に就任させていただきました。四度目の新春を迎えました。これも、ひとえに



完成も近い柚野中校舎(上)と保健センター(下)



今年 町制施行 30 周年

心ふれあひのコミュニティづくりを推進

徳地町長 井上平司

町民皆様がたの温かいご支援とご協力のたまものと、深く感謝の意を表するものであります。

この間、国、地方の財政事情は誠に厳しいものがあり、国においても行政改革等諸種の施策を講ずるなど、この危機打開をもっとも重要な政治課題としていることは十分ご承知のことと存じます。

ふりかえてみますと、この四年間、町政をとりまく環境は誠に厳しいものがありました。私といたしまして、町の最高責任者として福祉の充実を最重要に、また、住民と行政が一体となって時局のすう勢を見きわめながら、町基本構想の基調であります「心のかよう住みよい、伸びゆく町づくり」をめざし、皆様がたの英知とご協力を賜りながら、着実に諸施策を実施してきたところであります。

おかげをもちまして生活、産業基盤の整備充実には、その成果が挙がりつつあることは喜びに堪えないところであります。

すなわち、町民体育館、公営住宅、義務教育施設の建設、道路基盤整備、地域改善対策事業の推進、企業誘致、林業基盤整備のほか、念願としておりましたほ場整備、町民の健康保持の中心となる保健センターも間もなく完成のはこびとなりまふ。そのほか、コミュニティづくりの一環としての花いっぱい運動も順調に推移しています。これら、各般の事業にわたり、町基本計画と過疎地域振興計画との整合性を保ちながら、町民の皆様との協力を得て、未来ある町発展の基礎固めをしてまいることができましたことに対してここにあらためて心からお礼を申

し上げます。

本年は、時あたかも町制施行三十周年の記念すべき年であり、本町が真にかがやかし二十一世紀を迎えるための基礎となる、希望にあふれた年でもあると確信するものであります。

また、後期過疎地域振興計画の初年度にもあたります。

この振興計画では、基本構想を基調に義務教育施設整備、ほ場整備、林構山村広場、特産品の振興、企業誘致、消防救急体制の整備、その他生活環境の整備等をすすめる、継続事業としては国立少年自然の

家、農免農道、大規模林道等の早期完成をはかるもので、本年も皆様がお力添えを得て、厳しい財政事情の中ではありますが、これら実現に向けて鋭意努力する所存であります。

一方、さらに心のふれあうコミュニティづくりを推進し、明るいふるさとづくりにまい進する決意であります。

年頭にあたり、町民の皆様のご多幸を心からお祈りいたしますとともに、なお一層のご鞭撻とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつといたします。

2月24日投票 町長選挙と 町議会議員補欠選挙の 日程決まる

選挙人名簿登録資格

○徳地町に引き続き三か月以上住所を有する者(転入については昭和五十九年十一月十五日までに転入届をした者) ○日本国民で年齢満二十歳以上の者(昭和四十年二月二十五日まで)に生まれた者

立候補予定者の説明会

○町長選挙 一月二十九日午後一時から

○町議会議員補欠選挙 一月二十九日午後二時から

○説明会の場所 町役場会議室

ポスター掲示場の設置

徳地町の議会の議員および徳地町長選挙が行われるときは、ポスターの掲示場が設置されることになりました。

問い合わせ

徳地町選挙管理委員会事務局

☎ 0111111内222

有線 2251

選挙時登録を行う基準日

二月十五日(金)

投票日

二月二十四日(日)

告示の日

二月十九日(火)

徳地町選挙管理委員会では、任期満了に伴う徳地町長選挙と徳地町議会議員の補欠選挙を次の日程で行うことを決定しました。

学校教育だより

ねばり強く着実な歩みを 新年を迎えて 徳地町教育を考える

あけましておめでとうございませう。輝かしい昭和六十年を迎え、心より町民の皆様のご健勝とご発展をお祈りします。

さて、激動する世界情勢の中で、わが国もきびしい現実に対処しつつ、世界平和の一方の旗手としての責務を果たしております。

中でも教育問題は、世界各国共通の重要課題であり、早急に手をうたねばならぬことがたくさんあります。ひるがえって、徳地町の教育を

みつめますに、問題が山積しております。

まず、昭和五十九年度で県の研究指定の責を果たした、へき地集合学習の問題があります。

年々児童・生徒数の減少する当町では、複式五校もますます小規模複式化の一途をたどっています。

したがって、ある程度人数がまとまらないとできない内容の、習得ができません。へき地集合学習は、そのために考え出された教育です。

これまで、町民各位、議会、町当局のご理解と決断をいただき、山口県において先導的試行を続け、大きい成果をあげてきたわけですが、県指定が終わりますと助成もなくなり、経費の面でも町財政に負担をかけることになりました。

この点につきまして、徳地教育百年の計のため、いつそこのご理解をいただきたいのであります。

また、へき地センター校としての指定の終わったあと、本町のへき地教育の振興をどう図るかも、大きい課題であります。

複式教育の振興と、集合学習の推進は両輪の関係にあり、どちらがおかれても本町の教育にとつて大きい障害となります。

さらに、小規模化の波を受けてふるわなくなった徳地町の学校体

育、スポーツ指導計画の総見直しもいそがなくてはなりません。小・中学の体育、スポーツ指導計画をたて直し、強力に小・中一貫性をもたせ、体位、体力の増強をめざすとともに、競技力を身につかせなければなりません。

紙面の関係で、一つ一つとあげてご理解をいただくゆとりがありませんが、三年次を迎える徳地ふるさと教育も大きい課題のひとつであります。あすの徳地を背負って立つ子供たちを、深い郷土愛をもって育てるため、私どもは二年間にわたつてさまざまな角度から研究し実践してまいりました。

ふるさと教育の定着を図り、大きい花を咲かせるのが三年次——昭和六十年の課題でもあります。これには、各学校を中心として

地域の皆様のご協力、積極的な参加が必要です。

夢は継ぐ者があつてこそ夢の価値があるのです。

昭和六十年は、輝かしい年であるとともにきびしい年ともなりましょう。町民の皆様のご負託に応えるべく教職員一丸となつて努力する覚悟であります。

生徒指導講座

三学期も

やさしい心で

寒いけれど、土の中では春を待つ花の芽がどんどん育っています。うれしいものです。

反面、うれしくない芽も育っています。進級や進学、就職を控えた子供たちの不安の芽です。

閉じこめられた冬の感じと不安感から、思いもかけない事故が起こるのが三学期の特徴です。

特に、進学や就職を目前にした子供たちの焦りや不安は大変なものです。おとなが心を開いて、子供と同じレベルになつて相談にのつてやるのが一番大切なことです。

はやめ・こまめ・ひいきめの今年度の総仕上げが三学期の私たちの責任です。親の、隣人の仕事です。

卒業を前にして

島地中三年 友田順二君

今まで、ぼくは自由気ままにすごしてきましたが、いよいよ今年の三月に卒業します。ぼくは高校へは進まずに、すぐ就職します。だから、今までのことは考えず、これからのことについて考えたいと思つています。すくなくともクラスのみならず早く社会人になるのですから。

社会に出ると今までの生活とはわけがちがいます。学生は仕事をしなくても食べて行けますが、でも、ぼくにとつてはそうはいかな

いのです。今まで自由気ままにすごしてきたばかりだから、卒業してちやんとできるかどうか心配です。だから、今のあいまいな生活はやめて、この三学期は社会人になるという気持を大切にしていきたいと思つています。今までぼくはあまり校則を守ってきませんでしたので、今年からは守っていききたいと思つています。社会にもいろいろきまりがあるので、それから就職したら毎日仕事を休まず行こうと思つています。去年までぼくは、よく学校を理由もなく休んでいたので、

ぼくは一つの夢を持っています。大きな夢なので実現するかどうかわからないのですが、整備工場を経営したいと思つています。大き

な工場ではなくて、小さな工場です。なぜなら、ぼくの好きなバイクや自動車をいじつてみたいからです。だれでも夢は持っています。でも実現されるのはほんのすこしかも知れませんが、ぼくは、自分の夢に向かって進んでいきたいと思つています。そこで、三学期は次のことを目標にしています。

- 一、規則を守る。
 - 一、学校を休まずちゃんと行く。
- 卒業まで、あとわずかになりました。悔いのないように精いっぱい過ごしていきたいと思つています。四月からの生活に不安がありますが、自分の考えを大切にしていこうと思つています。



▲串中の校内かるた大会



社会教育だより 第22回 徳地町社会教育振興大会を 開催

社会教育の振興を図り、明るい徳地の町づくりに寄与する目的で第二十二回社会教育振興大会が、十一月三十日山村開発センターで開催されました。

大会は、参加者全員の町民憲章唱和で始まり、主催者森氏教育長のあいさつ、井上町長のあいさつに続いて、社会教育の振興に貢献されたかたがたの表彰などが行われたあと、「たくましく豊かな徳地っ子を育てるために」と題しての藤沢菊治先生の講演がありました。

社会教育振興大会で表彰されたかたがた

○徳地町教育委員会表彰
山本一美さん(青少年部門)



▲表彰式

昭和二十三年武道振興会を結成以来、青少年の健全育成の一環として、町内の青少年の剣道指導に貢献されたもの。

家本初枝さん(婦人部門)
八坂地区婦人会長として地域婦人会の育成発展に取り組み、地域ふるさとづくりに貢献されたもの。

社会教育振興大会の講演から たくましい徳地っ子を 育てるために

山口市白石小学校長 藤沢菊治先生

子供を育てる指針として、「健全なる精神は健全なる身体に宿る」ということわざがある。

このことわざには、頭に、もし祈るならばという言葉がついていたのである。ここで祈るという意味は「努力する」「行動する」と解する。

親は「真・善・美・聖・健」の価値を追求する努力をすることが大切である。

吉田松陰の教育理念に「涵・育・薫・陶」を示している。子供を育てるには、水が綿にしみ通るように、母が乳をくくめる(口の中

片山公子さん(社会体育部門)
昭和四十九年度から体育指導委員として熱心に任務を遂行し、スポーツを通じ社会体育振興に貢献されたもの。

花いつばい表彰

- 町長賞 引谷小学校、堀保育所、船路上自治会
- 教育長賞 柚野小学校、串小
- 学校賞 中央小学校PTA
- 自治会長賞 出雲婦人会、神原婦人会、島地婦人会、三谷川下自治会、上市自治会、下庄自治会、上串一区自治会、中野自治会

に含ませる)ように、香りが部屋を満たすように育て、そして熱いものの中に入れて鍛えるように育てることが必要であり、今の育て方には「陶」のきびしさが足りない。

子供の人格は三歳までに形成される。子供の精神的発達、大脳の重さよりも脳細胞のからみ合いに基因するところが大きい。このからみ合いは、環境的要因による影響が大きく、「三つ子の魂百まで」は事実のようである。

次に身体的発育面で、身長を伸ばすには一に栄養、二に運動が大切で、栄養では小さいわしやほうれん草、にんじん等緑黄野菜の摂取が必要である。

子供が学習意欲をおこすには、まず、生活リズムが大切である。早寝、早起きの基本的習慣を身につけることである。

第30回徳地町駅伝 中学校女子の部の 参加で盛り上がる

十二月二日、駅伝日和に恵まれた第三十回徳地町駅伝大会は、新たに中学生女子の部が加えられ華やかに開催されました。

町内の中学、高校、一般から参加した二十二チームが、午前九時四十分井上町長の号砲で役場前を一齐にスタート、八坂中折返し、役場前経由、島地中折返し、役場前ゴール(女子は八坂中折返し役場の七区間二六・八八kmのコースで健脚を競いました。

この大会で、柚野愛好会の伊藤忠己さんは、十回連続出場となり森氏教育長から感謝状が贈られました。

結果は次のとおりです。

- 中学校男子の部(八チーム)
 - ①堀中A 一時間三分四秒
 - ②八坂中A 一時間三分五秒
 - ③島地中A 一時間四分五秒
 - 中学校女子の部(六チーム)
 - ①八坂中A 五分四秒
 - ②八坂中B 五分四秒
 - ③串中 五分四秒
 - 高校の部(佐波高一チーム)
 - 佐波高校 一時間三分三秒
 - 一般の部(七チーム)
 - ①島地青年団 一時間四分四秒
 - ②徳地町4Hクラブ 一時間四分二秒
 - ③柚野愛好会A 一時間五分四秒

▼中学女子は八坂中Aが優勝



- 新記録賞
中学校の部 一区 粟屋位貴(堀)・三本和男(八坂) 三区 金子誠(堀)・藤本将之(島地)・竹内晃司(八坂) 四区 河村晃央(八坂) 五区 重本浩明(堀)・河村幹圭(八坂)
- 敢闘賞 岩崎英己(佐波高)



▲青年の船に参加した青年たち

山口県青年の船

徳地町から13人が参加

三日下関港から中国へ向け出航しました。
徳地町からは十三人の青年が参加し、十日間にわたる日程の中ですばらしい体験をしたようです。
今回は、青年の船に乗船した佐波郡連合青年団長の藤本圭三さんの感想を掲載しました。

今、情熱が海を渡る

佐波郡連合青年団团长
藤本圭三さん

二十一世紀を担う青年に、広く国際感を養い、中国青年との交流を通して、友好、親善を図るため、第三回山口県青年の船が、県下の青年四百人を乗せて、十一月二十

「第三回山口県青年の船」が、十一月二十三日から十日間の日程で、四千年の歴史と伝統を誇る中国へ向けに出航しました。
七日間の往路復路の船内生活では、地域ビジョンの確立と、リーダーの意識開発を旨とし、講義を中心に、船の揺れにも負けずお互いの情熱をぶつけ合い、本音でことん語り合いました。上陸後は青島―濟南―北京と訪問し、種々の文物を見聞し日本と中国との対比の中で、新たに自分を見つめ直し、また、中国青年との交流では通訳をまじえ、一言二言の中国語と身ぶり手ぶりで、相互理解を深め、友好親善に努めました。
乗船前には「中国は日本に比べ二十年から三十年遅れているぞ」と聞いていました。確かに外見적으로는、服装、住居等すべての生活環境のどこを見ても劣っているように見えました。しかし、現在、中国は政府の掲げている農業・工業・国防・科学技術の「四つの現

代化」を今世紀末までに達成へ向けて、人民一人一人が心を一つにし、また国をあげて努力しています。それは学校教育の中でも徹底されており、小学校三年から日本語の勉強を組み込むとのことでした。民衆が一体となって国家建設に努め、愛国心に燃える思いを、ポロポロの服に身をまとった人民一人一人から感じられました。文明の進んだ、国土の狭い、資源の無い、日本国の自分の生活の思うと、本当に今の生活から物質的文明を取ったら、何が残るだろうか。果して精神的に強く生きていけるだろうか。幸せに育った自分、そんな恐怖心をいだかせた旅となりました。

私たち青年は、子供から脱皮して大人としての再生期です。子供の無限の力の中から、大人としての

の自分を引き出さなければいけない。大切な精神面を、これからの青年団活動を通じる中でお互いが高めつつ、培わなければいけないと思います。
二千年の日中交流の歴史から見れば、ほんの短期間だったかも知れませんが、日中間には、きわめて不幸の歴史が存在しました。両国民がひどい災難をこうむり、大きな損害をうけたことも忘れてはなりません。今国際社会の中の私たち青年の果たす役割は、青年が社会の一員として社会の発展に努め、よりよき郷土づくりをし、よりよき未来を創り国際平和を築くことだと痛感しました。

最後に、印象深かった言葉を一つ若者へ贈ります。「生きていくということとは、だれかに借りを作ること。生きていくということ

同和教育推進

大会を開催

昭和五十九年度同和教育推進大会が、十一月三十日中央小学校を会場に約二百人が参加して開催されました。

当日は、中央小学校の一年、四年、五年生の授業が公開され、子供たちの学習の様子を見学したあと、中央小学校の山本雅一教諭、島地中学校の品川良彦教諭、青年団の渡辺浩信さんらの「同和教育の取り組みについて」の発表や、



▲同和教育推進大会

徳佐小学校長 御幡高光先生の「同和教育と私」と題した講演がありました。

あなたです 差別のない町 築くのは

(昭和59年度同和对策推進標語)

▼万里の長城で



は、その借りを返すこと」その借りを、あなたも青年団で作ろうではありませんか。

叙位叙勲

故 永田暁文氏に

正八位勲五等瑞宝章

去る十月三十一日に逝去された永田暁文氏(大字岸見・元島地小学校長・社会教育委員)に対し、生前、学校教育および社会教育に尽くされた業績により、このほど正六位勲五等瑞宝章の叙位叙勲がありました。
御冥福をお祈りいたします。

フィルムレポート

最新型の消防ポンプ車を配備

～町消防団島地分団へ～

昭和59年度石油貯蔵施設立地対策事業で購入された最新型の消防ポンプ自動車が、このほど町消防団島地分団に交付されることになり、その交付式が去る12月5日老人福祉センターで行われました。



▲老人福祉センターで行われた交付式



▲大原湖上流での桜の植樹

大原湖・長者ヶ原などに

桜の苗木 600本を植樹

(財)日本宝くじ協会と(財)日本さくらの会から贈られた桜の苗木(染井吉野, 八重桜, 山桜) 600本を、去る12月8日自治会, 青年団, 婦人会, 観光協会, 町役場職員の約200人で、大原湖上流や長者ヶ原の周辺に植樹をしました。

大原湖の附近の桜は、佐波川ダム完成後の昭和31年に植えられ、今日まで桜の名所となっていました。最近ではテングス病にかかるなど木も古くなっていました。この植樹で桜も新たによりみえり、数年先にはみごとな花がみられそうです。

第32回 徳地町畜産共進会を開催

恒例の徳地町畜産共進会が、去る12月7日徳地とう精工場横の広場で開催されました。当日は、乳用牛10頭、肉用牛50頭の計60頭が出品され、各部門で厳正な審査が行われた結果次のかたがたが入賞されました。

(敬称略)

●第32回徳地町畜産共進会長賞

○肉用牛の部〔特等〕重田信一, 賀屋忠義, [1等] 岡村昭, 田村鷹久, 賀屋忠義 [2等] 末永正行, 齊藤清隆, 藤本秀太郎, 宮正貞生, 河村正義 ○乳用牛の部 [特等] 松田茂 [1等] 松尾任庸, [2等] 佐古太一

●町長賞・町農業委員長賞・県経済農業協同組合連合会長賞・県獣医師会防府支部長賞・県家畜商組合連合会長賞以上重田信一(肉用牛)

●町議会議長賞・県牛増殖振興会長賞・県畜産会長賞・県農業共済組合連合会長賞・県家畜商組合連合会長賞以上賀屋忠義(肉用牛)

●町長賞・県家畜改良協会賞・佐波農業共済組合長賞・防府酪農農業協同組合長賞・県家畜商組合連合会長賞以上松田茂(乳用牛)

また、去る9月と10月に山口市、県経済連小郡家畜市場で行われた山口県畜産共進会で、徳地町から出品されたうち次のかたがたが受賞されました。(敬称略)

●第32回山口県畜産共進会長賞

理想肥育一区2等賞 賀屋忠義, 技肉区優等賞 岡村昭, 同2等賞 賀屋忠義



▲出品牛の審査



▲野谷分館で行われた開通式

間方バイパス開通

(県道防府阿東線)

主要県道防府阿東線の間方バイパス(北谷, 御馬間 2,990m)が完成し, 去る12月3日, 平井龍山口県知事, 井上平司徳地町長ほか関係者多数が参加して, 現地の 大字野谷, 柚野公民館野谷分館で開通式が行われ, 共用開始されました。

式典は, 県知事や町長のあいさつ, 花束贈呈などが行われた後, テープカット, くす玉割り, もちまき, バレードと盛大な開通式となりました。また, 当日は 佐波高プラスバンド, 柚野小太鼓の演奏で式典に花を添えました。

このたび開通した地域は, 道幅も狭く交通の難所の一つでしたが, 間方バイパスの完成で通勤, 通学はもとより経済活動などにも大きく貢献するものと思われ ます。



▲河村多希絵ちゃん(御馬)と村田和美ちゃん(中村)が県知事と町長へ花束を贈呈

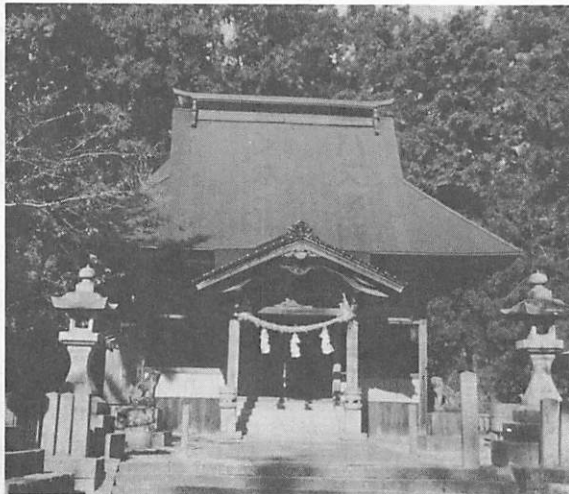
▼開通した間方バイパス



ふるさと探訪 ⑦

出雲神社

徳地町大字堀字二の宮



周防国二の宮で, 延喜式神名帳に出雲神社二座とあるように「大己貴命, 事代主命」の二柱を祭神とする。

起源は古く, 社伝によれば元正天皇の霊亀元年(715)出雲国の出雲大社から勧請したのに始まるとされ, 天平9年(737)周防国二の宮に定められたと伝えている。

そして平安時代になって延喜式に名神として両祭神があげられたのであるが, 出雲神社は式内社以前から周防国屈指の名神として朝廷から保護を与えられていた。天平10年の周防国正税帳によると, 出雲神社は春秋の祭料20束を給されているのである。

その後, 大内氏, 毛利氏ともに神社を尊崇し多くの社領を授けている。明応6年(1497)大内義興は武運長久の祈願に玉祖神社を最初に出雲神社, 仁壁神社, 赤田神社, 朝田神社と周防五社に参拝したことが記録に見え, 永正15年, 享祿2年, 天文5年の大内義隆の寄進状, 永祿10年の毛利輝元の掟をはじめとして多数の古文書がある。社殿は古式によって造られていて非常に貴重である。

健康婦コーナー

すこやか老人シリーズ 2

じょうずな食事のとりかた

食べることはいくつになっても楽しみです。そして、上手に食へること(正しい食生活)が健康をつくり、老化を遅らせてくれます。栄養のバランスに気を配り、食べやすく消化しやすいものを選び、調理にくふうすることが大切です。年をとっても、毎日、卵一個、牛乳一本、魚か肉か大豆製品、あるいわ、それに相当するものを一皿とりましょう。

お年寄りのかたがおちいりやすい栄養上の障害として、「小食、欠食、かたよった食事によって、体力の低下や老化を早める」型と

「食事やおやつを食べすぎて肥満をおこし、そのために心臓病、動脈硬化、高血圧、糖尿病などを招く」型があります。

バランスのよい食事

肉や魚になる。	
+	
からだの調子をととのえる。	
+	
体温や働きがよくなる。	

毎回の食事に組合わせてとりましょう



思いあたるかたは気をつけて、いつまでも若々しくお元気です。

国保だより 資格と届出

異動があったら 14日以内に届出を

会社などに勤めている人とその家族は、職場の健康保険(政管、組合健保、共済組合)に加入し、これらのいずれの保険にも加入していない人は、すべて国民健康保険に加入しなければなりません。そのため資格に異動があった場合は、十四日以内に届出をしなければなりません。

▼届出がおけると▲

国保の被保険者であるかどうかは、世帯主の届出によって始めてわかります。届出がされると、いろいろな面で困ることになります。

- 一、病気やけがをした場合、保険診療が受けられません。
- 二、届出がなければおくれるほど、保険税をさかのぼって納めなければならぬので、負担を強く感じます。

- 国保にはいる場合
- ・転入してきたとき
- ・会社等の健康保険をやめたとき
- ・子供が生まれたとき
- ・生活保護を受けなくなったとき

○国保をやめる場合

- ・転出するとき
- ・会社等の健康保険にはいったとき
- ・被保険者が死亡したとき
- ・生活保護を受けることになったとき
- こんな場合にも届出を
- ・住所・氏名・世帯主・続柄などが変わったとき
- ・世帯主の合併、分離のとき
- ・修学のために転出するとき
- ・出張、旅行などで、別の被保険者証が必要なとき
- ・高額療養費の申請をするとき
- ・退職者医療制度の対象となる人
- 退職被保険者になる人

足がなくなったら大変！ 路線バスを利用しよう

町内を走る路線バスの利用者が年々減少しています。今、町内を走っているバスのうち、堀一防府間を除く路線は一日平均の乗車数が、だいたい五・一から五・三人です。一路線で一台一日平均乗車数が五人を割り、第三種路線となり三年以内にバスは止まってしまいます。

このままではますます二、三年後には、赤字のため今までどおりの運行をすることが困難になり廃止されることにもなりかねません。現在、すでに路線バスに替わって柳野―地福間を阿東町営バス、上藤木―島地間を徳地町営バスが運行されていますが、町営バスになりますと、バスを運行するための必要経費やバス運賃の値上げなど、皆さんの負担となつてはねかえってきます。なにかと物入りな昨今、これは以上の負担はお互いし、はお互いに、私たちが、足がなくなつては大変です。私たちが、足がなくなつては大変です。私たちが、足がなくなつては大変です。



- ・国民健康保険の加入者
- ・老人保健法の適用を受けていない人
- ・厚生年金保険や共済組合、船員保険、恩給法などの被用者年金制度から老齢(退職)年金の支給を受けている人で、年金保険の被保険者等の期間が、原則として二十年以上であるか、または被用者年金制度に四十歳以後十年以上加入して、通算老齢(退職)年金の支給を受けている人
- 家族(被扶養者)の条件
- ・退職被保険者の被扶養者と認められるのは、国民健康保険の加入者で本人(退職被保険者)と同一の世帯に属していて、主として本人の収入によって生計を維持している本人の父母、配偶者(内縁でもよい)子、孫、弟妹など三親等内の親族です。
- ※届出がまだの人は早めにしましょう。
- ◎問い合わせ(届出先)
- 役場保健衛生課保健係(☎②1111・内261・有線2341)または各支所へ

お知らせ

昭和60年度

保育園(所)児の募集

町内の保育園(所)に入園を希望される児童の保護者のかたは、次の期間中にお申し出ください。
 ○受付期間 昭和六十年一月三十一日まで
 ○受付場所 役場本庁、各支所の窓口か町内の各保育園(所)

募集

○入園開始 昭和六十年四月
 ○申請要領 所定の申請書で申し込んでください。(申請書は受け付け場所にあります)
 なお、申し込みにあたっては、入園基準、手続きなどよく確かめてお間違いないようにしてください。
 ○問い合わせ 町民課福祉係
 (☎②1111・内253
 有線2331)

科学万博—つくば85
 エキスポ号が
 山口駅にやってくる

昭和六十年三月から国際科学技

術博覧会が開催されます。これに先がけ「エキスポ85サイエンストレイン」が全国五十三駅を巡回中です。
 この列車は、「科学万博—つくば85」の紹介のほか、遊びながら科学の原理が理解できるコーナーや未来生活の体験ゾーンなど、楽しい展示がいっぱいです。また、昭和六十年・特許制度百周年を記念して、少年・少女の発明作品も展示します。
 ぜひ、ご観覧ください。
 ■期日 一月二十三日、二十四日
 ■停車駅 山口駅二番ホーム
 ■公開時間 午前十時～午後四時
 ■観覧入場料 無料(ただし、駅構内入場券は必要です)

1・2級技能士訓練課程 通信制訓練の 受講者を募集

山口技能開発センター

訓練科目 ○一級 機械加工・配管など六科 ○二級 配管・建築・金属塗装など二十九科
 受講資格 実務経験のあるもの
 訓練期間 標準一か年(いつでも受け付けます)
 受講料 ○一級 八千円 ○二級 六千円
 特典 技能検定の学科免除
 問い合わせ 〒753 山口市大字矢原字花の木二八四の一 山口技能開発センター(☎山口②1948)

中国電力からのお願い タコ揚げは広場で

冬の風物詩—タコ揚げは、冬休みの子供たちにとって楽しい遊びの一つです。
 とくちが、毎年タコが電線などにかかっている光景を、町内のあちらこちらでよく見かけます。
 遊び方によっては停電、感電など思いがけない事故の原因にもなります。
 事故防止のため、タコは電線のない広場で揚げましょう。
 万一、タコが電線にかかったときは、電柱や鉄塔に登ってはいけません。

あなたに代わってふるさと便り

～広報とくちがお手伝いします～

昨年4月号から町外在住の皆様へ「ふるさとの便り」として広報とくちを贈っています。ご希望のかたは企画室広報係までお申込みください。あなたに代わって毎月お贈りします。費用は無料です。

◎企画室広報係 (☎②1111内218・有線2352)

山口県の最低賃金

(昭和59年度改正)

産 業 (または作業)	一般労働者	時間給労働者	発 効 年月日
	1日(円)	1時間(円)	
食 料 品 製 造 業	3,493	437	59.12.17
ただし、袋詰め、びん洗い、清掃等軽作業	3,342	418	
織 維 産 業	3,482	436	59.12.24
ただし、雇入れ後6ヵ月未満の者および糸切り等の軽作業	3,306	414	
木材・木製品・家具・装備品製造業	3,628	454	60. 1. 2
出版・印刷・同関連産業	3,573	447	59.12.16
窯業土石製品製造業	3,791	474	59.12.29
ただし、花びん、こけし等の大理石加工業	3,697	463	
萩焼など陶磁器製造業	3,540	443	59.12.28
機械・金属製品等(電気機器を除く)製造業 および自動車整備業	3,757	470	
ただし、清掃、片付け等の軽作業	3,664	458	59.12.28
電気機械器具製造業	3,522	441	
ただし、清掃、片付け等の軽作業	3,435	430	59.12.22
卸 売 業	3,632	454	
小 売 業	3,619	453	59.10. 6
ただし、清掃、炊事等の軽作業	3,458	433	
上記以外の全産業	3,213	402	

(注) 最低賃金のうちには、精・皆勤手当、通勤手当、家族手当は算入されません。

山口労働基準局テレホンサービス(0839-23-6464)で
 モシモシ
 最低賃金の情報を流しています。ご利用ください。

訂

正



広報とくち十二月号四ページの昭和五十八年度一般会計決算の概要中、歳入の部、地方交付税(収入済額)の金額に誤りがあります。たので次のとおり訂正します。
 (原) 一、二九七、九五二千元
 (正) 一、二九九、九五二千元

ません。危険ですから、そのままにして中国電力徳地出張所(☎0115)へご連絡ください。

